※令和８年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文演習	単位数	２単位	年次	３年次
教材	・現代文読解基礎ドリル　改訂版（駿台文庫） ・ロジック現代文　私大過去問題演習〈マーク＋記述〉対策編 ・三訂版　共通テスト対策　現代文完答 22（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章に触れ、論理的に文章を読み解く読解力を向上させる演習を積む。
・実践的な演習を通じて、筆者の論を整理し、論理立てて文章を読み解く力をつける。
・解答を作る際に、文章全体のキーワードや要点に気づく。
・積極的に文章読解に取り組み、自分自身で達成した点と弱点を分析する。

2　学習の到達目標

・多様なものの見方、考え方、感じ方を読み解くことで、正確な読解力を身に付けることで文章を鳥瞰的に捉えられるようになる。
・自ら学び考える意欲を持ち、語彙力や表現力も含めて、社会で活かせる国語力を身に付ける。
・文章読解のための演習を通して、物事の真の姿を見る力を養うことで、社会生活で益となる国語力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	書くこと、読むことの各領域において、論理的に文章を読み解く力を伸ばすとともに、創造的に考える力も養うことで、自身の思いや考えを広げ深めることができる。	文章読解を通じて、言語が持つ価値を理解するとともに、読解を通じて我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、積極的に文章を読み、考えようとする態度を身に付けることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和８年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	「論」と「例」① 対比① ［教材］ 「現代文読解基礎ドリル」	a:文や文章の効果的な組立て方や文章の構成について理解を深めている。 b[読]:内容や構成、論理の展開、対比構造などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	リニア① 「論」と「例」② ［教材］ 「現代文読解基礎ドリル」	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]:内容や構成、文のつながりなどを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め文章の内容や構成を的確に捉え、要旨を把握しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	対比② 推論・統合(具体と抽象) ［教材］ 「現代文読解基礎ドリル」	a:文章の効果的な組立て方や具体と抽象の文章について理解を深めている。 b[読]:内容や構成、論理のつながりなどを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	「論」と「例」③ 対比③ 一体性・類似性 ［教材］ 「現代文読解基礎ドリル」	a:文や文章の効果的な組立て方や文章の構成について理解を深めている。 b[書]:内容や構成、論理のつながりなどを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨をまとめている。 c:進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めてまとめようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	「論」と「例」④ 日本のデザイン(原研哉) 家族の痕跡(斎藤環) ［教材］ 「現代文読解基礎ドリル」 「ロジック現代文　私大過去問演習〈マーク＋記述編〉」	a: 文章の組立て方や類似性の文章構成について理解を深めている。 b[読]:内容や構成、論理のつながりなどを的確に捉え、文章の構成に着目して要旨を把握している。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、要旨をより深く理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
二学期	対比④ リニア② ［教材］ 「現代文読解基礎ドリル」 「ロジック現代文　私大過去問演習〈マーク＋記述編〉」	a:文章の効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成やつながりについて理解を深めている。 b[書]:内容や構成、論理のつながりなどを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨をまとめている。 c:進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、効果的な文章の構成	定期考査 小テスト	課題	課題

※令和８年度以降入学生用

		や論理の展開を工夫し、文章の要旨をまとめようとしている。			
	文学的文章第１回～第3回 ［教材］ 「三訂版　共通テスト対策　現代文完答 22」	a:文学的文章読解のための着眼点を確認し、文章についての理解を深めている。 b[　読　]:文学的文章の読解を通じて、心情理解のための手がかりとなるポイントを押さえた上で文章の流れをつかみ、読解が的確にできている。 c:読解に必要な語句の量を積極的に増やし、文学的文章を読解するための情報や文章の着眼点を積極的に身につけようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	時間と自己(木村敏) 歴史のゆくえ(渡邊二郎) ［教材］ 「ロジック現代文　私大過去問演習〈マーク＋記述編〉」	a:　文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成やつながりについて理解を深めている。 b[　読　]:読解の基本に基づき、実践演習をこなしながら、的確に文章内容を読み取れている。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、内容や構成を的確に捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	文学的文章第４回～6 回 ［教材］ 「三訂版　共通テスト対策　現代文完答 22」	a:文学的文章の読解に必要な語彙や基本読解方法を演習の中で把握している。 b[　読　]:内容や構成、心情を捉えるための実践的な読解ができている。 c:進んで文章内容の理解を深め、文学的文章の読解の仕方を把握し、その方法を次の問題演習で実践しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	わたしの文章作法(佐多稲子) 人口知能時代を〈善く生きる〉技術(堀内進之介) 科学と非科学―その正体を探る(中屋敷均) ［教材］ 「ロジック現代文　私大過去問演習〈マーク＋記述編〉」	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成やつながりについて理解を深めている。 b[　書　]:論説文などを読みそれらの内容の要旨を適切にまとめている。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、積極的に次の演習に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
三学期	文学的文章第7回～10 回 ［教材］ 「三訂版　共通テスト対策　現代文完答 22」	a:　:文学的文章の読解に必要な語彙や基本読解方法を演習の中で把握している。 b[　読　]:複数の文章を踏まえて、相互の関連性を把握し、内容や心情を的確に捉えている。 c:学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、実践演習に沿って、複数文章の相互関連を把握して内容を的確に捉え、次の演習に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
三学期	漱石を書く(島田雅彦) 『インテリ』と知的社会の変貌(山崎正和) 落語の中の経済学(大竹文雄)	a：実践演習を通じて、文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成やつながりについて理解を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題

※令和８年度以降入学生用

	「ロジック現代文　私大過去問演習〈マーク＋記述編〉」	b[　読　]:読解の基本に基づき、実践演習をこなしながら、的確に文章内容を読み取れている。 c:読解のために必要な語句の量を増やし、内容や構成を的確に捉え、次の演習に生かすことができている。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間